

# ウェアラブルスキャナ NC500R

## 取扱説明書

Ver 1.1g  
(2020年1月改訂)

日栄インテック株式会社

## はじめに

この度は弊社ウェアブルスキャナ（NC500R）をお買い頂きありがとうございます。

本書は、本製品のハードウェア、ソフトウェアの使い方について説明しています。

ご使用前に本書をよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他における登録商標または商標です。
- Google、Android は、米国 Google Inc. の米国およびその他にける登録商標または登録です。
- Apple、iPhone、iPad は、米国 Apple Inc. の米国およびその他における登録商標または商標です。
- その他、本マニュアルに記載されている製品名および会社はそれぞれの企業登録商標または商標です。
- 本マニュアルの著作権は日栄インテック株式会社にあります。一部または全てを無断で使用、複製することは著作権法により禁じられております。
- 本製品の仕様に関しては、将来予告無しに変更することがあります。

# 目次



はじめに.....	2
安全上のご注意 .....	1
無線設備について.....	3
Bluetooth について.....	3
バッテリーについて.....	3
ハードウェア.....	4
同梱品の確認.....	4
各部の名称.....	4
ご使用方法.....	5
充電の仕方について.....	6
ステータスLEDとブザー鳴動について.....	7
通信モード.....	7
無線モード.....	7
有線モード.....	7
設定.....	9
初期設定.....	9
無線HID接続(ペアリング)接続手順.....	9
有線接続について.....	10
HID 通信接続手順(Android/Windows 用).....	10
仮想 COM 通信接続手順.....	10
スキャンモード.....	11
マーキング用レーザーと補助光(白色LED)の設定.....	11
スキャンキーの設定.....	12
ブザー音の設定.....	13
キーボード種類(国別)設定.....	13
CapsLock の設定.....	13
文字送信(キーストローク)速度の設定.....	14
Bluetooth 接続時間の設定.....	14
メモリモード機能.....	15
日付の設定方法.....	16
時刻の設定.....	17
出力項目位置変更の設定.....	17
区切り文字変更の設定.....	18
日付の出力形式変更の設定.....	18
時間の出力形式変更の設定.....	19
付加文字列の設定.....	20
データキャリア識別子(コード ID)の設定.....	20
データキャリア識別子とは.....	20

カスタム設定 .....	21
ターミネータの設定 .....	23
プリフィックス/サフィックスの設定 .....	23
読取りバーコードシンボル体系の設定 .....	24
すべてのバーコードシンボル体系の読取りを有効にする。 .....	24
すべてのバーコードシンボル体系の読取りを無効にする。 .....	24
バーコードシンボル体系 有効/無効の設定 .....	25
JAN/EAN-13 の詳細設定 .....	28
1.読取り許可 .....	28
2.チェックキャラクタの送信 .....	28
3.アドオンの設定 .....	28
4.図書2段バーコードの上段を ISBN (10 桁) に変換 .....	28
JAN/EAN-8 の詳細設定 .....	29
1.読取り許可 .....	29
2.チェックキャラクタの送信 .....	29
3.アドオンの設定 .....	29
UPC-A の詳細設定 .....	30
1.読取り許可 .....	30
2.チェックキャラクタの送信 .....	30
3.アドオンの設定 .....	30
4.UPC-A を JAN-13 に変換 .....	30
UPC-E の詳細設定 .....	31
1.読取り許可 .....	31
2.チェックキャラクタの送信 .....	31
3.アドオンの設定 .....	31
4.UPC-E を UPC-A に変換 .....	31
CODE39 の詳細設定 .....	32
1.読取り許可 .....	32
2.Full ASCII 変換 .....	32
3.スタート/ストップキャラクタの送信 .....	32
4.チェックキャラクタの照合と送信 .....	32
5.読取り桁数範囲の設定 .....	33
CODABAR(NW7)の詳細設定 .....	34
1.読取り許可 .....	34
2.スタート/ストップコードの送信 .....	34
3.スタート/ストップコード .....	34
4.チェックキャラクタの照合と送信 .....	34
5.読取り桁数範囲の設定 .....	35
Interleaved 2of5 の詳細設定 .....	36
1.読取り許可 .....	36

2.チェックキャラクタの照合と送信 .....	36
3.読取り桁数範囲の設定 .....	37
Industrial 2of5 の詳細設定 .....	38
1.読取り許可.....	38
2.チェックキャラクタの照合と送信 .....	38
3.読取り桁数範囲の設定 .....	39
Matrix 2of5 の詳細設定 .....	40
1.読取り許可.....	40
2.チェックキャラクタの照合と送信 .....	40
3.読取り桁数範囲の設定 .....	41
CODE128/GS1-128 の詳細設定.....	42
CODE128 の読取り桁数範囲の設定.....	42
保守メニュー .....	43
数字バーコード.....	43
サフィックス付加文字(ASCIIコード)一覧.....	44
サンプルバーコード.....	51








## 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。  
 本書では、製品を安全に正しくお使いいただくため、また機器の損傷を防ぐため、次の記号を用いて、守っていただきたい事項を示しています。



 <b>警告</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

記号の意味：



- ⚠ 記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを示しています。
- 🚫 記号は、禁止（してはいけないこと）であることを示しています。
- 🔒 記号は、遵守頂きたい内容を示しています。

 <b>警告</b>	
<p>重要：システム設計者へ</p> <p>◆薬品の管理など、人命に影響を与える可能性があるシステムでは、データが誤った場合でも人命に影響を与える可能性が無いよう、冗長設計、安全設計には十分ご注意ください。</p>	
<p>◆次のような場合は、すぐにホスト側の電源を切り、インタフェースケーブルのコネクタを抜いて販売店にご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると、火災や感電、事故または故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 煙がでている場合、変なおいや音がしている場合</li> <li>▶ 製品の内部やすき間に、金属片や水などの異物が入った場合</li> <li>▶ 製品を落とすなどして動作しなくなった場合、ケースが破損した場合</li> </ul>	
<p>◆製品を分解したり、改造したりしないでください。</p> <p>事故や故障の原因になります。</p>	
<p>◆湿気の異常に多い場所や水滴のかかる可能性のある場所では使用しないでください。</p> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>	
<p>◆製品の内部やすき間に、金属片を落としたり、水などの液体をこぼしたりしないでください。</p> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>	
<p>◆スキャナ本体をたたいたり、落下等で強い衝撃を与えないでください。</p> <p>漏液・発熱・破裂・発火・故障の原因になります。</p>	

## 警告

<ul style="list-style-type: none"><li>◆バッテリーの充電は製品に同梱された専用の充電ケーブルを使用してください。結線の異なるケーブルで充電すると、発熱・破裂・発火の原因になります。</li><li>◆充電時に、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。</li></ul>	
<ul style="list-style-type: none"><li>◆コネクタの端子に指などで触れないでください。感電・傷害・故障の原因になる場合があります。</li><li>◆濡れた手で、インタフェースケーブルなどを接続したり取り外したりしないでください。感電の原因となることがあります。</li></ul>	

## 注意

<p>次のようなことは、絶対に行なわないでください。守らないと、火災や感電、事故または故障の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆スキャナ本体や充電／通信ケーブルの上に重たいものを置かないでください。また重いものの下敷きにならないようにしてください。</li><li>◆不安定な場所に置かないでください。</li><li>◆インタフェースケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、強く引っ張ったりしないでください。</li><li>◆磁石・ブザー・スピーカー・ブラウン管・RFIDアンテナの近くになど、強い磁界が発生する恐れがある所で使用、保管しないでください。本体の誤動作・故障の原因になります。</li><li>◆レーザー光に関する注意 読取り窓からレーザー光を直接覗かないで下さい。 目に障害を及ぼす場合があります。</li></ul>	
<p>本製品は、事務用・産業用などの一般的用途を想定したものであり、以下のように高度な安全性が要求される用途での使用を想定した製品ではありません。</p> <p>陸上・海上・航空輸送・交通の運行制御管理・原子力核施設の制御管理・生命維持装置の制御管理など</p> <p>弊社では、このような生命・人体・環境に対して重大な危険性を伴う用途での使用により発生した損害に対し、いかなる責任も負い兼ねますのであらかじめご了承ください。</p>	

## 無線設備について

本製品には電波法で定められた 2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システムの無線局の特定無線設備として、工事設計認証を取得済みの Bluetooth モジュールが搭載されています。その為、日本国内においては無線局の免許は必要ありません。

法律により次の行為は禁止されています。

- ・改造及び分解
- ・認証証明ラベルの剥離

## Bluetooth について

- ・ Bluetooth 無線技術を利用して通信を行うには、同一仕様（プロファイル）に対応している必要があります。
- ・ 本機は、Bluetooth 標準規格に準拠していますが、接続確認済み機器以外との接続は保証できません。
- ・ Bluetooth 対応機器が使用する電波帯(2.4GHz 帯)は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。その為、Bluetooth 対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響によって通信速度や通信距離の性能が低下したり、通信が切断されることがあります。
- ・ 機器間の障害物、電波状況により、通信速度や通信距離は異なります。
- ・ 本機は、BLE (Bluetooth Ver4) 対応機器となっております。このため接続機器側も Bluetooth Ver4 以上かつ Windows8.1 以降の機器でないとうまく繋がらない場合がありますのでご注意ください。

## バッテリーについて

本製品にはリチウムポリマー電池が使用されています。リチウムポリマー電池は、「資源有効利用促進法」により電池メーカー及び電池を使用する機器メーカーに回収・リサイクルが義務付けられた小型二次電池です。弊社では使用済み小型二次電池の回収・リサイクルを実施しております。寿命となったリチウムポリマー電池の交換・回収に関しては修理扱いにてご対応させていただきます。(交換:有償、回収:無償 注記:どちらの場合もお送り頂く際の送料はご負担をお願いしておりますのでご注意ください。)

お送り頂く際は、修理依頼書(保証書裏)を記載の上、同梱して下記住所にお送りください。

〒110-0016 東京都台東区台東 3-42-5 日栄インテック御徒町第1ビル 8階  
日栄インテック株式会社 開発事業部 Auto-ID グループ サポート係  
TEL 03-5816-7141

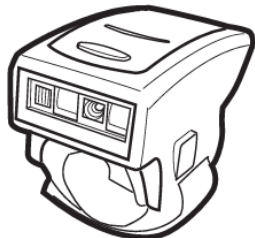


## ハードウェア

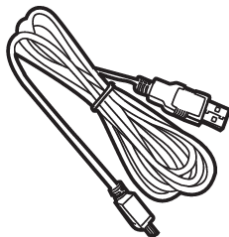
### 同梱品の確認

パッケージを開いたら、次の同梱品が揃っているかご確認ください。

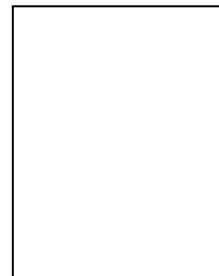
もし、不足している物がある場合は、お買上げになった販売店にご連絡ください。



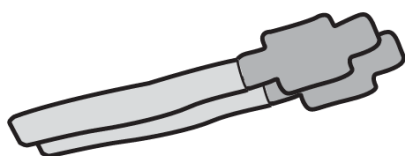
本体



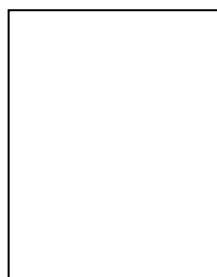
充電／通信用ケーブル



ご利用の手引き (A4)

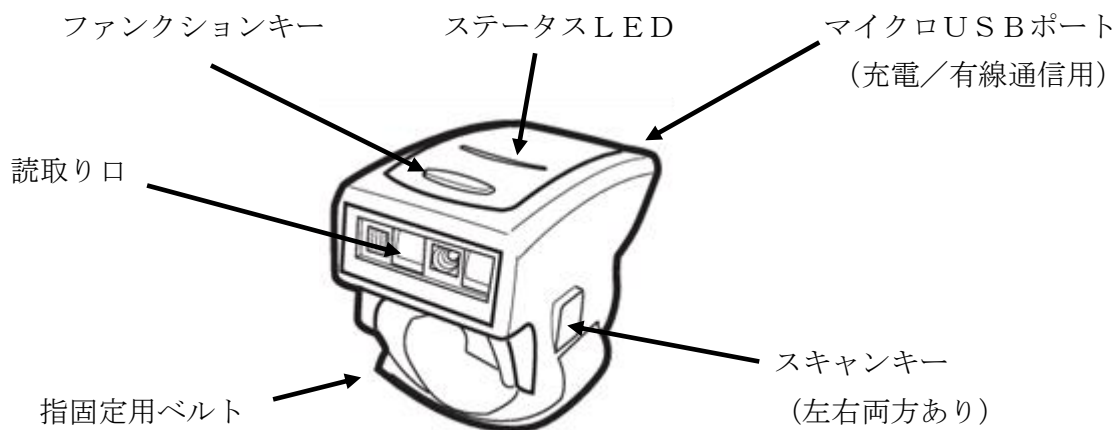


指固定用ベルト (2枚)



保証書 (裏：修理依頼書)

### 各部の名称



名 称	機 能
スキャンキー	押すとレーザーが照射され読取りができます。 左右両方にあり右手・左手どちらでも使用可能となっております。
ステータスLED	読取り状態や充電状態を表示します。
読取り口	バーコードを読取ります。(二次元コードは読取りできません)
マイクロUSBポート	付属のケーブルを繋ぐと充電／通信を行うことができます。
ファンクションキー	長押しすることでペアリング (機器との接続) 状態にすることができます。
指固定用ベルト	指に巻いて機器を固定するために使用します。

## ご使用方法

(1) 指固定用ベルトの端をマジックテープから剥がし、指を差し込む。



(2) 指から本体が動かない程度に指固定用ベルトを締め付けてマジックテープを止める。



(3) 下写真のように指を曲げて親指にてスキャンキーを押してレーザーが照射されるかご確認ください。(スキャンキーは軽く触れるだけでレーザーは照射されます。)

【注記】 ご確認の際、読取り口を覗き込んでレーザーを見ないでください。  
目に障害を及ぼす場合があります。



スキャンキーは反対側にもあります。  
初期状態ではどちらでもレーザーが  
出るようになっております。

(4) バーコードにレーザーを当て読取りができることをご確認ください。

【注記】この状態では読取り音は鳴りますが通信はされません。通信も一緒にご確認したい場合は、接続手順をご参照ください。

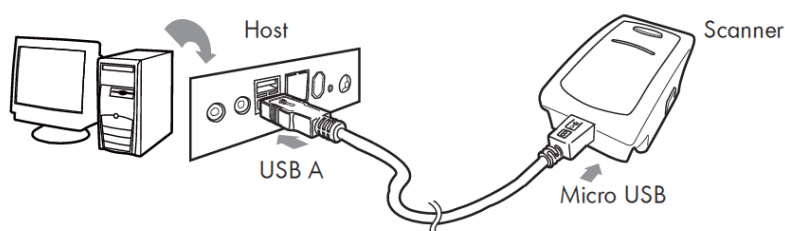


### 充電の仕方について

本製品はPCのUSBポートやモバイルバッテリーに繋いで充電することができます。

本製品の充電を行う際には、付属の充電ケーブルをご使用ください。

(1) 充電／通信用ケーブルのマイクロUSBのコネクタを本体に接続し、もう一方をパソコン等に接続してください。



(2) これで充電が行われます。

【注記】パソコン等の接続側の電源を落としていると充電できない場合がありますのでご注意ください。

(3) 充電が完了しましたら充電／通信用ケーブルを抜いてください。

充電時間：約 2.5 時間

※充電中はステータス LED が赤色点灯になります。満充電時は消灯します。

オプションのアームマウンタ (GSAB1000P) を繋ぐことで大幅に使用時間を延ばすことが可能です。アームマウンタについては別途弊社営業にお問い合わせください。

## ステータスLEDとブザー鳴動について

ステータス LED とブザーの鳴動は色々な条件により異なる光と音を出すようになっています。LED の表示とブザー鳴動の組み合わせ情報は次のようになります。

動作状態	LED表示	ブザー鳴動
バーコードの読取りに成功した時	緑色点灯（1回）	ブザー鳴動（1回）
ペアリング（接続）に成功した時	緑色点灯（2回）	ブザー鳴動（2回）
設定が完了した時	緑色点灯（1回）	ブザー鳴動（2回）
ペアリング（接続）が切れた時	緑色点灯（3回）	ブザー鳴動（3回）
設定中に間違ったバーコードを読んだ時	緑色点灯（1回）	短いブザー鳴動（3回）
充電が切れかかっている時	赤色点滅	ブザー鳴動（5回）
Bluetooth 接続先を探している時	青色点滅	ブザー鳴動なし

## 通信モード

本製品は大きく分けると無線モードと有線モードの2つの通信モードを持っています。更に、有線モードは USB HID 通信と仮想 COM 通信の2種類の通信モードを持っています。

### 無線モード

無線モードは接続機器側が持っている Bluetooth モジュールと無線 HID 接続（ペアリング）することで読み取ったバーコードデータを接続機器側に送ることができます。

### 有線モード

本製品の設定を変更し、充電／通信用ケーブルを本体と接続機器側に繋ぐことで読み取ったバーコードデータを接続機器側に送ることができます。

送る通信手段として USB HID（USB キーボードエミュレーション信号）通信と仮想 COM（RS232C信号）通信の2種類の設定が可能です。

【注記】 USB HID 通信でご利用の場合は、接続機器に繋いで設定を USB HID 通信にすると自動的にドライバがインストールされますが、仮想 COM 通信でご利用の場合は、設定変更を行う前に弊社ホームページより仮想 COM 用のドライバをダウンロードし、インストールを行った上で設定変更を行ってください。

【注記】 仮想 COM 通信にてご利用の場合は、信号が RS232C 信号にて送信されます。このため接続機器側に RS232C 信号を受取るソフトが入っていない場合、信号を受取ることができませんのでご注意ください。また、受取るソフトが入っていてもデバイスマネージャー上に出来上がっている COM 番号と受取るソフトの COM 番号を合わせて頂く必要がありますのでご注意ください。

※うまく繋がらない場合は、弊社営業にお問い合わせください。

日栄インテック株式会社 Auto-ID グループ

TEL : 03-5816-7141 FAX : 03-5816-7140

e-mail : inquiry@barcode.ne.jp

お問い合わせ時間 : 9 : 00 ~ 12 : 00 13 : 00 ~ 18 : 00 (祝日・土日は除く)

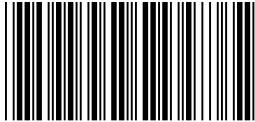
製品ページ : <https://www.barcode.ne.jp/product/1188.html>

## 設定

以下に記載のバーコードを本製品にて読ませることで本製品の設定を変えることができます。

### 初期設定

下のバーコードを本製品にて読ませることで弊社出荷時の状態に設定を戻すことができます。



【注記】本設定はペアリング情報も初期化されてしまいますのでご注意ください。

### 無線HID接続(ペアリング)接続手順

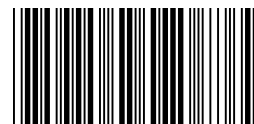
(1) 下の3つのバーコードを上から順に読んでください。

無線 HID の接続には ANDROID 系と iOS/MAC/WINDOWS 系で設定バーコードが異なりますので接続機器の OS をご確認の上、設定を行ってください。

#### ANDROID 系設定



#### iOS/MAC/WINDOWS 系



(2) 接続機器側の Bluetooth 項目を ON にしてください。

ON の仕方は各接続機器によって異なりますので接続機器側の取扱説明書にてご確認ください。

(3) 本製品のファンクションキーを長押しする。

ステータス LED が青色点滅になるまで長押しして下さい。(約 2 秒)

(4) 暫くすると Bluetooth の項目の所に本体裏側に記載の BT ID (英数字 5 桁) が表示されますのでタッチまたはクリックしてください。更に暫くすると接続完了などのメッセージが表示されましたらペアリング (接続) 完了となります。

※接続できない場合は、一度できた項目を削除して接続手順の (1) から再度行ってみてください。

## 有線接続について

有線接続の通信仕様には HID 通信と仮想 COM 通信の 2 種類の通信が可能です。

### HID 通信接続手順 (Android/Windows 用)

- 1) 充電用ケーブルを本機に接続し、出力先の USB ポートに充電用ケーブルの USB コネクタを接続してください。
- 2) 下のバーコードを本機にて読んでください。



- 3) 自動で USB ドライバがインストールされますので暫くお待ちください
- 4) メモ帳やキーボード信号が出力可能なソフト (Excel や Word 等) を立ち上げて頂きお手元にあるバーコードを読んでデータが正常に出力されるかご確認ください。

### 仮想 COM 通信接続手順

この仕様でご使用の場合は、専用のドライバをインストールする必要があります。  
下記 URL よりダウンロードの上、先にインストールを行ってください。

<http://www.barcode.ne.jp/download/1068.html#NC500R>

- 1) 充電用ケーブルを本機に接続し、出力先の USB ポートに充電用ケーブルの USB コネクタを接続してください。
- 2) 下のバーコードを本機にて読んでください。



- 3) 接続先のデバイスマネージャーの COM と LPT の項目に下記名前のもが表示されているか確認を行い、この COM 番号が何番になっているか確認を行う。

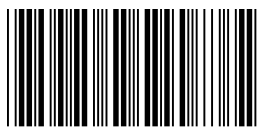
STMicroelectronics Virtual COM Port (COM※※)

- 4) RS232 信号を受取ることができるソフトを立ち上げて頂き COM 番号を上記番号と合わせて頂いた上でお手元にあるバーコードを読んで頂き、データが正常に出力されるか確認を行ってください。

## スキャンモード

スキャンモードには常時点灯モードとスキャンキーON/読取り成功OFFの2種類の設定が可能です。

(初期値：スキャンキーON/読取り成功OFF)



常時点灯

LEDが常時点灯状態になりスキャンキーを押さずに連続してバーコードを読むことができます。



スキャンキーON/読取り成功OFF

スキャンキーを押すとLEDが点灯し読取り可能となります。読取りに成功するか、読取りできない状態が10秒以上続けばLEDはOFFとなります。

## マーキング用レーザーと補助光(白色LED)の設定

本製品はマーキング用のレーザー及び補助光(白色LED)の照射の仕方を設定により変えることができます。



レーザーON/1秒後LEDON

スキャンキーONと同時にレーザーマーキングも照射され、読取りできないと1秒後に白色LEDも照射されます。



レーザーON/LEDオートON

スキャンキーONと同時にレーザーマーキングも照射され、受光素子にて暗いと判断されると自動で白色LEDが照射されます。



レーザーON/LEDON

スキャンキーONと同時にレーザーマーキング及び白色LED共に照射されます。



レーザーOFF/LEDON

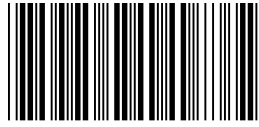
スキャンキーONと同時に白色LEDのみ照射されます。



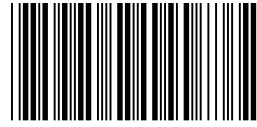
## スキャンキーの設定

スキャンキーは本機の両側に付いており右手でも左手でも持ち替えるだけで押すことができるようになっております。また、初期状態では両方使えるようになっていますが、設定により片方のみ効くように設定することができます。

(初期値：両方機能する)



両方機能する



右手のみ機能する  
(右手で使用ユーザ用)

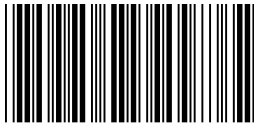


左手のみ機能する  
(左手で使用ユーザ用)

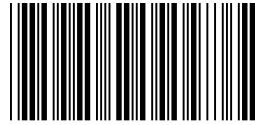
### ブザー音の設定

本機では読取り時のブザー音を高・中・低・無しの4つの設定ができます。

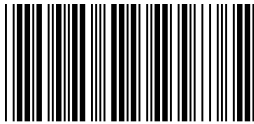
(初期値：中)



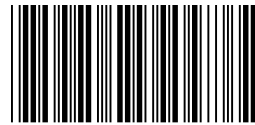
高



低



中

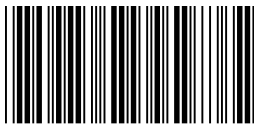


無し

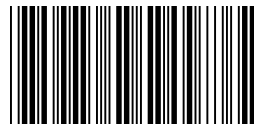
### キーボード種類(国別)設定

本機では HID 通信時の国別信号を設定することができます。

(初期値：101 (英語) キーボード)



101 (英語) キーボード



日本語キーボード

※これ以外の国別信号への設定も可能ですので設定したい国がありましたら最終ページに記載の URL からお問い合わせください。

### CapsLock の設定

本機では CapsLock の設定が可能です。ON に設定すると大文字が小文字に小文字は大文字になって出力されます。(但し、パソコン側の CapsLock が ON になっている場合、上記は相殺されて元の状態のまま出力されます。)

(初期値：OFF)



OFF



ON

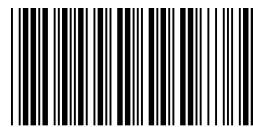
### 文字送信(キーストローク)速度の設定

本機では文字送信（キーストローク）の設定を下記 6 段階で変更することができます。

（初期値：16msec）



140μsec



50msec



4msec



150msec



16msec



250msec

### Bluetooth 接続時間の設定

本機では接続機器との Bluetooth 接続時間を変更することができます。

（初期値：30 秒）

設定は分単位で設定が可能です。（最大値：60 分）

設定の際は、下のバーコードを読んだ後、P43 の数字バーコード 2 個読むことで設定することができます。

例) 10 分に設定する場合は、『下のバーコード』 → ” 1 ” → ” 0 ” → 再度『下のバーコード』のバーコードを読めば設定完了となります。



Bluetooth 接続時間の設定

60 分以上繋ぎたい場合には常時接続に設定することが可能です。



常時接続設定

※この設定の場合は、数字バーコードを読む必要はありません。

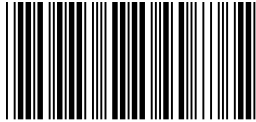
※設定時間を長くするとバッテリーの消耗が早くなりますのでご注意ください。

## メモリモード機能

本機では読み込んだデータを溜めておきテキストデータとしてパソコンに出力することができます。

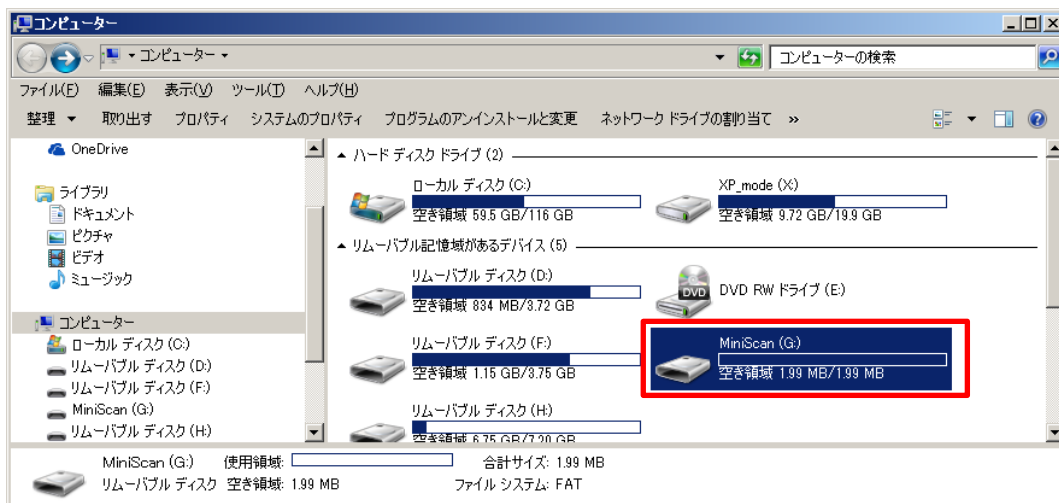
### 《使用方法》

- 1) 下のバーコードを読んでもください。(読むとメモリモードになります。)

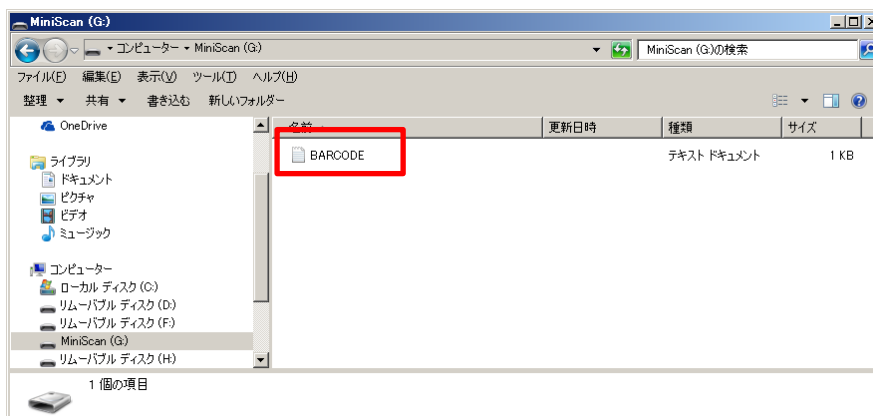


メモリモード設定

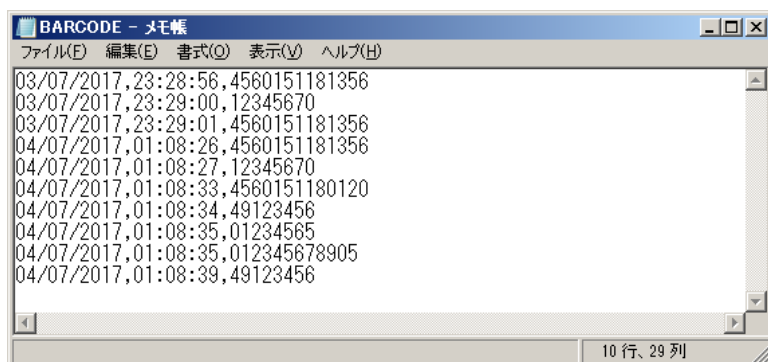
- 2) 何かバーコードを読ませてください。(10個ぐらい読ませてください。)
- 3) 充電用のUSBケーブルを本機に繋いでデータを出力したいパソコンのUSBポートに繋いでください。  
(初めて繋いだ場合は、USBドライバのインストール(自動で行われます)が行われますので少し(1分程)お待ちください。)
- 4) “コンピュータ”の項目に”MiniScan”が追加されているかご確認ください。



- 5) ”MiniScan”をダブルクリックして“BARCODE”というファイルが出来ているかご確認ください。



- 6) “BARCODE” をダブルクリックして頂き下のようなデータが記載されていればメモリモードの使用が問題なくできる状態になっております。



※日付，時間は出荷時設定を行っていないため基本狂っていますので下記記載の設定にて合わせてください。（日付，時間はバッテリーの充電が切れると狂いますので設定を行った際は、バッテリーの充電を切らさないようご注意ください。）

- 7) 保存したデータを削除したい場合

スキャナを出力先とUSBケーブルで繋いだ状態のまま出来上がっている

“BARCODE” データを削除してください。

本体よりピピと音が鳴れば削除完了となりますので一旦本体よりUSBケーブルの抜き差しを行い、改めて出来た“BARCODE”データの中身が空になっているかご確認ください。

#### 日付の設定方法

日付を設定するためには下のバーコードを読んだ後、P43の数字バーコードを読むことで設定することができます。



日付設定

- 例) 日付を2017年9月5日に設定したい場合

- 1) 上の”日付設定”バーコードを読む
- 2) P43の”1”、”7”、”0”、”9”、”0”、”5”のバーコードを読む
- 3) もう1度上の”日付設定”バーコードを読む

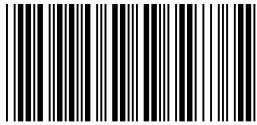
これで設定完了です。

注記) 日付の設定を行っても、設定前に読み込んでいたデータの日付は変更されませんのでご注意ください。（変更されるのは設定後に読んだデータのみとなります。）

注記) P9の“初期設定”のバーコードを読むと設定した日付は設定前の状態に戻りますのでご注意下さい。

## 時刻の設定

時刻を設定するためには下のバーコードを読んだ後、P43の数字バーコードを読むことで設定することができます。



時刻設定

例) 時刻をAM 8時10分30秒に設定したい場合

- 1) 上の”時刻設定”バーコードを読む
  - 2) P43の”0”、”8”、”1”、”0”、”3”、”0”のバーコードを読む
  - 3) もう1度上の”時刻設定”バーコードを読む
- これで設定完了です。

注記) 時刻の設定を行っても、設定前に読み込んでいたデータの時刻は変更されませんのでご注意ください。(変更されるのは設定後に読んだデータのみとなります。)

注記) P9の”初期設定”のバーコードを読むと設定した日付は設定前の状態に戻りますのでご注意ください。

## 出力項目位置変更の設定

デフォルトでは『日付』『時刻』『バーコードデータ』の順に出力されますがこの順番を変更することができます。



位置変更設定

例) 『バーコードデータ』『日付』『時刻』の順で出力したい場合

『日付』: 2, 『時刻』: 3, 『バーコードデータ』: 4の数字で登録を行います。

- 1) 上の”位置変更設定”バーコードを読む
  - 2) P43の”4”、”2”、”3”のバーコードを読む
  - 3) もう1度上の”位置変更設定”バーコードを読む
- これで設定完了です。

例) 『バーコードデータ』だけ出力したい場合

- 1) 上の”位置変更設定”バーコードを読む
  - 2) P43の”4”のバーコードを読む
  - 3) もう1度上の”位置変更設定”バーコードを読む
- これで設定完了です。

注記) 位置変更の設定を行っても、設定前に読み込んでいたデータの位置は変更されませんのでご注意ください。(変更されるのは設定後に読んだデータのみとなります。)

### 区切り文字変更の設定

P44 に載っている ASCII コードを設定することで区切り文字を変更することができます。  
デフォルトでは『,』(カンマ) が設定されています。  
(P16 の 6) のメモ帳の画像を参考にしてください。



区切り文字変更設定

例) 区切り文字を『\*』(アスタリスク) にしたい場合

- 1) 上の”区切り文字変更設定”バーコードを読む
  - 2) P46 の『\*』(アスタリスク) のバーコードを読む
  - 3) もう 1 度上の”区切り文字変更設定”バーコードを読む
- これで設定完了です。

注記) 区切り文字変更の設定を行っても、設定前に読み込んでいたデータの区切り文字は変更されませんのでご注意ください。(変更されるのは設定後に読んだデータのみとなります。)

### 日付の出力形式変更の設定

日付の出力形式を変更することができます。



日付の出力形式変更設定

デフォルトでは 03/07/2017 (日/月/年) で出力されます。(対応番号 0 9 です。)

対応番号	出力形式	対応番号	出力形式
0 1	03-07-2017 (日-月-年)	0 9	03/07/2017 (日/月/年)
0 2	07-03-2017 (月-日-年)	1 0	07/03/2017 (月/日/年)
0 3	03-07-17 (日-月-年下二桁)	1 1	03/07/17 (日/月/年下二桁)
0 4	07-03-17 (月-日-年下二桁)	1 2	07/03/17 (月/日/年下二桁)
0 5	2017-07-03 (年-月-日)	1 3	2017/07/03 (年/月/日)
0 6	17-07-03 (年下二桁-月-日)	1 4	17/07/03 (年下二桁/月/日)
0 7	03-07 (日-月)	1 5	03/07 (日/月)
0 8	07-03 (月-日)	1 6	07/03 (月/日)

例) 出力形式を『2017/07/03 (年/月/日)』にしたい場合

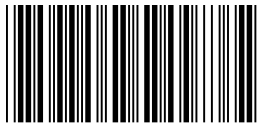
- 1) 上の”日付の出力形式変更設定”バーコードを読む
- 2) P43 の “1”、” 3” のバーコードを読む

3) もう1度上の”日付の出力形式変更設定”バーコードを読む  
これで設定完了です。

注記) 日付の出力形式変更の設定を行っても、設定前に読み込んでいたデータの日付の出力形式は変更されませんのでご注意ください。(変更されるのは設定後に読んだデータのみとなります。)

#### 時間の出力形式変更の設定

時間の出力形式を変更することができます。



時間の出力形式変更設定

デフォルトでは10:05:20 (時:分:秒) で出力されます。(対応番号01です。)

対応番号	出力形式	対応番号	出力形式
01	10:05:20 (時:分:秒)	02	10:05 (時:分)

例) 出力形式を『10:05 (時:分)』にしたい場合

- 1) 上の”日付の出力形式変更設定”バーコードを読む
- 2) P43の“1”、“3”のバーコードを読む
- 3) もう1度上の”日付の出力形式変更設定”バーコードを読む  
これで設定完了です。

注記) 時間の出力形式変更の設定を行っても、設定前に読み込んでいたデータの時間の出力形式は変更されませんのでご注意ください。(変更されるのは設定後に読んだデータのみとなります。)



## 付加文字列の設定

本機にはバーコードデータの前後に文字列を付加することができます。

設定できるのは「データキャリア識別子（コード ID）」「ターミネータ」「プリフィクス」「サフィックス」の 4 種類です。

データに対するそれぞれの付加位置は次の通りです。

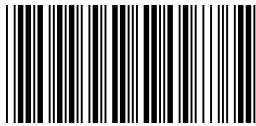
「プリフィクス」「データキャリア識別子」「バーコードデータ」「サフィックス」「ターミネータ」詳細については次項以降をご参照ください。

## データキャリア識別子(コード ID)の設定

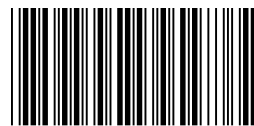
データの前にデータキャリア識別子（コード ID）を付加することができます。

JIS X0530 形式（3 文字）または任意のキャラクタ（2 文字まで）を設定することができます。

### 1) JIS X0530(AIM)形式



付加しない



付加する

※「JIS X0530 形式」を「付加する」に設定すると、次項「カスタム設定」の設定は無視され、JIS X0530 形式のアプリケーション識別子が付加されます。

### データキャリア識別子とは…

バーコードリーダが、読取ったデータを PC/ホスト機器に送信する際に付加する ID で、シンボル体系の種類その他、チェックキャラクタを検証したかどうか、送信データにはチェックキャラクタが含まれるのか含まれないのか、などの情報を表します。2000 年に ISO/IEC 15424 Data Carrier Identifiers (including Symbology Identifiers) として制定された国際規格で、日本では 2003 年に JIS X 0530 『データキャリア識別子(シンボル体系識別子を含む)』として JIS 規格化されました。

例) コード 39 の” C+0+D+E39” というバーコードを読み取り、データキャリア識別子を付加して送信する場合：

1. フル ASCII 処理をしないでデータ送信… ]A0C+0+D+E39
2. フル ASCII 処理してデータ送信…………… ]A4Code39

データキャリア識別子の内容：

]：データキャリア識別子を示すフラグ

A：コード 39 を示すコードキャラクタ

0：『チェックキャラクタ検証もフル ASCII 処理もしない』ことを示す変更子キャラクタ

4：『フル ASCII キャラクタ変換を実行/チェックキャラクタは検証しない』ことを示す変更子キャラクタ

※詳しくは、JIS X0530『データキャリア識別子(シンボル体系識別子を含む)』をご参照ください。

## カスタム設定

コード ID として、任意のキャラクタを 2 文字まで種別コード別に設定することができます。  
付加できるのは英数字のみとなります。

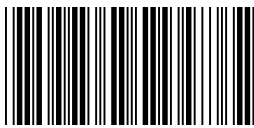
### 《設定手順》

- 1) カスタム設定 ON のバーコードを読む。
  - 1) 下の種別コードの中から付加したい種別コードのバーコードを読む。
  - 2) P43 からの『数字バーコード』『サフィックス/プリフィックス付加文字一覧』から設定したい英数字のバーコードを 1 つもしくは 2 つ読み取る。
  - 3) 1) で読んだ種別コードのバーコードをもう 1 度読む。
- これで設定完了となります。

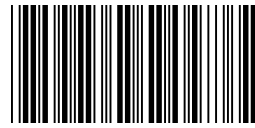


カスタム設定 ON

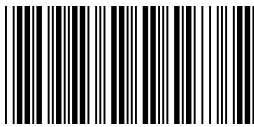
(種別コード別バーコード)



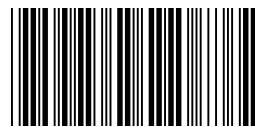
EAN/JAN13



EAN/JAN8



UPC-A



UPC-E



CODE39



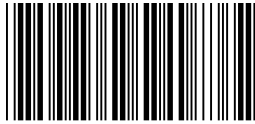
CODABAR(NW7)



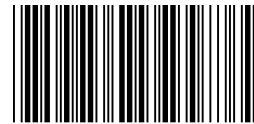
CODE39(フルアスキー)



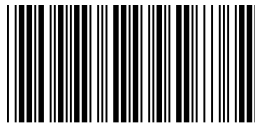
Matrix 2of5



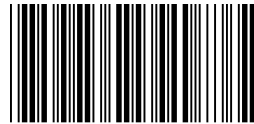
Interleaved 2of5



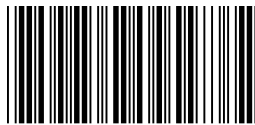
Industrial 2of5



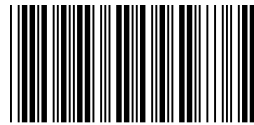
CODE128



EAN128



GS1-DATABAR(RSS-14)



GS1-DATABAR(Expanded)



GS1-DATABAR(Limited)



IATA



TELEPEN



CODE11



CODE32



CODE93



MSI

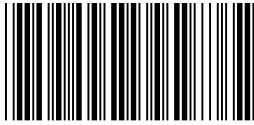


UK/Plessey

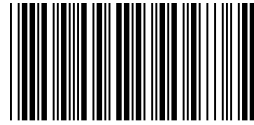
## ターミネータの設定

本機にはバーコードデータの後ろに下記の特種信号を付加して出力することができます。

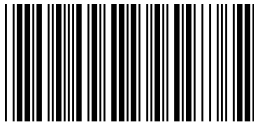
(初期値：CR)



付加しない



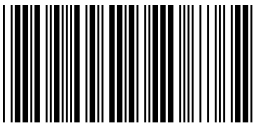
CR



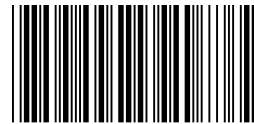
TAB



SPASE



CR+LF



ESC

## プリフィックス／サフィックスの設定

本機にはバーコードデータの前後に各最大 16 文字、任意の文字列を付加することができます。任意の文字列とは P43 からの『数字バーコード』及び『プリフィックス／サフィックス付加文字一覧』に記載されているものに限ります。

(設定手順)

- 1) バーコードデータの前に付加したい場合は、プリフィックスの設定のバーコードを、後ろに付加したい場合は、サフィックスの設定バーコードを読んでください。
- 2) 付加したい文字列を『数字バーコード』及び『プリフィックス／サフィックス付加文字一覧』から選びバーコードを読んでください。

例) 『A4?』を付加したい場合

P47 の「A」→P43 の「4」→P47 の「?」のバーコードを読んでください。

- 3) 1) で読んだバーコードをもう 1 度読んでください。

これで設定完了となります。



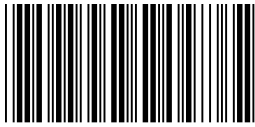
プリフィックスの設定



サフィックスの設定

## 読取りバーコードシンボル体系の設定

すべてのバーコードシンボル体系の読取りを有効にする。

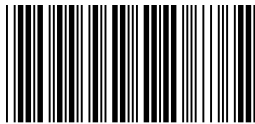


すべて有効にする

※読取りたいバーコードシンボル体系が分からない場合、この設定を行うことで読取りができる場合があります。

※この設定を行っていた場合、バーコードに見える模様であってもバーコードとして認識してしまう場合がありますのでご注意ください。

すべてのバーコードシンボル体系の読取りを無効にする。



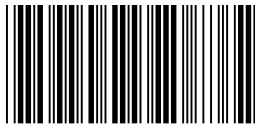
すべて無効にする

※読取りたいバーコードシンボルが少ない場合、この設定を行った上で個別のシンボル体系の読取りを許可に設定すれば設定を簡略化することができます。

※読取りしないバーコードシンボル体系を読取り不可にすることで誤読を抑えたり、読取り時間を短縮できる場合があります。

バーコードシンボル体系 有効／無効の設定

JAN/EAN-13

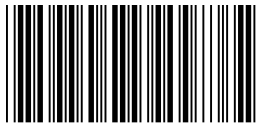


JAN/EAN-13 有効

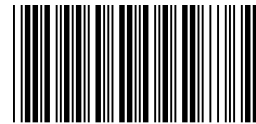


JAN/EAN-13 無効

JAN/EAN-8



JAN/EAN-8 有効

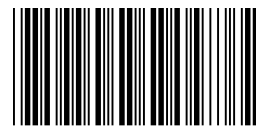


JAN/EAN-8 無効

UPC-A



UPC-A 有効



UPC-A 無効

UPC-E

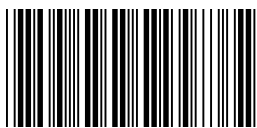


UPC-E 有効



UPC-E 無効

CODE39



CODE39 有効

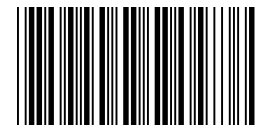


CODE39 無効

CODABAR(NW7)



CODABAR(NW7) 有効



CODABAR(NW7) 無効

Interleaved 2of5



Interleaved 2of5 有効



Interleaved 2of5 無効

Industrial 2of5



Industrial 2of5 有効



Industrial 2of5 無効

Matrix 2of5



Matrix 2of5 有効



Matrix 2of5 無効

CODE128



CODE128 有効



CODE128 無効

EAN128



EAN128 有効



EAN128 無効

CODE93



CODE93 有効

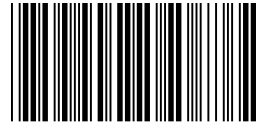


CODE93 無効

GS1-DATABAR(RSS-14)

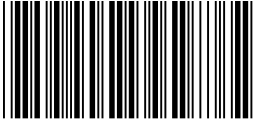


GS1-DATABAR(RSS-14)有効

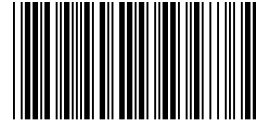


GS1-DATABAR(RSS-14)無効

GS1-DATABAR(Limited)

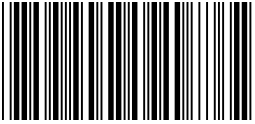


GS1-DATABAR(Limited)有効



GS1-DATABAR(Limited)無効

GS1-DATABAR(Expanded)

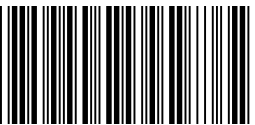


GS1-DATABAR(Expanded)有効

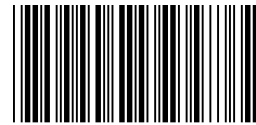


GS1-DATABAR(Expanded)無効

CODE11

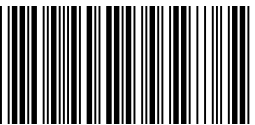


CODE11 有効



CODE11 無効

IATA



IATA 有効



IATA 無効

TELEPEN



TELEPEN 有効

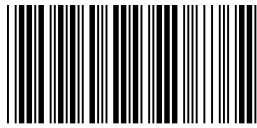


TELEPEN 無効

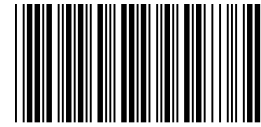


## JAN/EAN-13 の詳細設定

### 1. 読取り許可

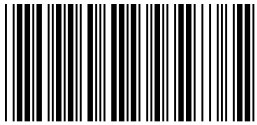


読取り許可

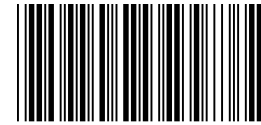


読取り不許可

### 2. チェックキャラクタの送信



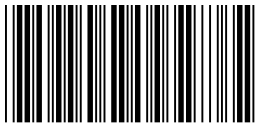
チェックキャラクタを送信する



チェックキャラクタを送信しない

### 3. アドオンの設定

#### 1) アドオン 2 桁

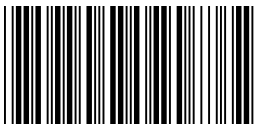


2 桁読取り許可



2 桁読取り不許可

#### 2) アドオン 5 桁



5 桁読取り許可



5 桁読取り不許可

#### 3) アドオンの必須選択

※上の 2 桁・5 桁の読取りを許可に設定するとアドオン必須となりますのでアドオン無しのバーコードも読みたい場合は左の『必須にしない』のバーコードを読んでください。

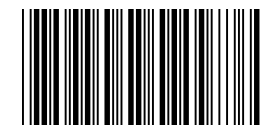


必須にしない

### 4. 図書 2 段バーコードの上段を ISBN (10 桁) に変換



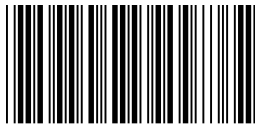
変換しない



変換する

## JAN/EAN-8 の詳細設定

### 1. 読取り許可

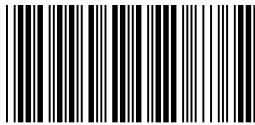


読取り許可

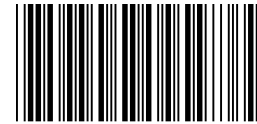


読取り不許可

### 2. チェックキャラクタの送信



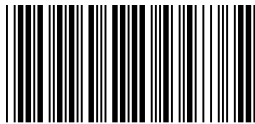
チェックキャラクタを送信する



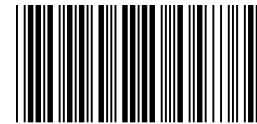
チェックキャラクタを送信しない

### 3. アドオンの設定

#### 1) アドオン2桁



2桁読取り許可



2桁読取り不許可

#### 2) アドオン5桁



5桁読取り許可



5桁読取り不許可

#### 3) アドオンの必須選択

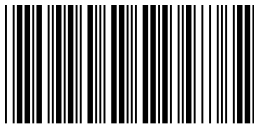
※上の2桁・5桁の読取りを許可に設定するとアドオン必須となりますのでアドオン無しのバーコードも読みたい場合は左の『必須にしない』のバーコードを読んでください。



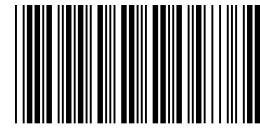
必須にしない

## UPC-A の詳細設定

### 1.読取り許可

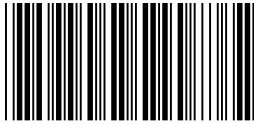


読取り許可

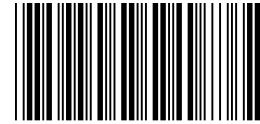


読取り不許可

### 2.チェックキャラクタの送信



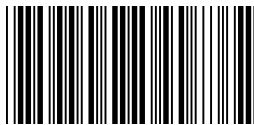
チェックキャラクタを送信する



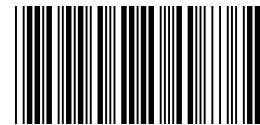
チェックキャラクタを送信しない

### 3.アドオンの設定

#### 1) アドオン2桁



2桁読取り許可



2桁読取り不許可

#### 2) アドオン5桁



5桁読取り許可



5桁読取り不許可

#### 3) アドオンの必須選択

※上の2桁・5桁の読取りを許可に設定するとアドオン必須となりますのでアドオン無しのバーコードも読みたい場合は左の『必須にしない』のバーコードを読んでください。



必須にしない

### 4.UPC-A を JAN-13 に変換



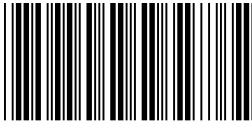
変換する



変換しない

## UPC-E の詳細設定

### 1.読取り許可

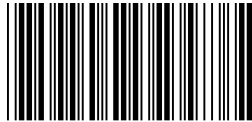


読取り許可



読取り不許可

### 2.チェックキャラクタの送信



チェックキャラクタを送信する



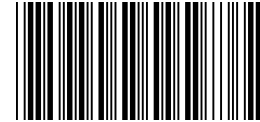
チェックキャラクタを送信しない

### 3.アドオンの設定

#### 1) アドオン2桁



2桁読取り許可

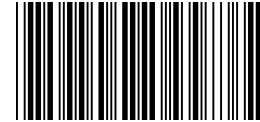


2桁読取り不許可

#### 2) アドオン5桁



5桁読取り許可



5桁読取り不許可

#### 3) アドオンの必須選択

※上の2桁・5桁の読取りを許可に設定するとアドオン必須となりますのでアドオン無しのバーコードも読みたい場合は左の『必須にしない』のバーコードを読んでください。



必須にしない

### 4.UPC-E を UPC-A に変換



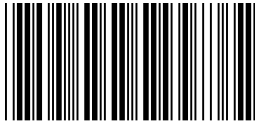
変換する



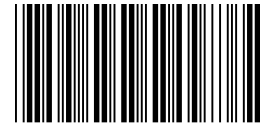
変換しない

## CODE39 の詳細設定

### 1.読取り許可

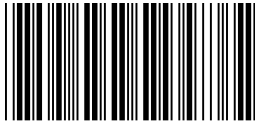


読取り許可



読取り不許可

### 2.Full ASCII 変換

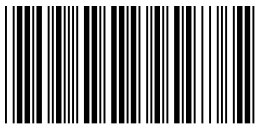


変換する

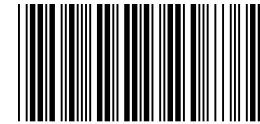


変換しない

### 3.スタート/ストップキャラクタの送信

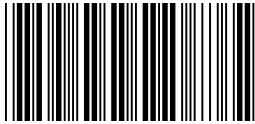


送信する

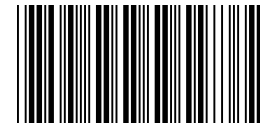


送信しない

### 4.チェックキャラクタの照合と送信



照合しない



照合しチェックキャラクタを送信する



照合しチェックキャラクタを送信しない

## 5.読取り桁数範囲の設定

最小読取り桁数と最大読取り桁数を設定することができます。

最小読取り桁数と最大読取り桁数を同じ数字にすることで桁数固定に設定することができます。

(設定手順)

- 1) 最小・最大で設定したい方のバーコードを読取ります。
- 2) 設定したい桁数のバーコードを2つ読取ります。  
(P43の『数字バーコード』をご使用ください。)
- 3) 1) で読んだ方のバーコードをもう一度お読みください。  
これで設定完了となります。

※桁数固定の設定を行う場合は、上記設定を最小・最大で各々設定を行ってください。

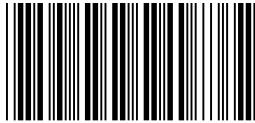
※設定したい桁数が1桁であっても2つのバーコードを読んでください。

例) 2桁に設定したい場合：0と2のバーコードを読む

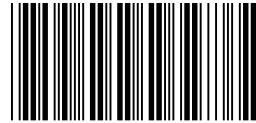
※最小読取り桁数と最大読取り桁数が逆転して設定されないようご注意ください。

例) 最小読取り桁数：10桁，最大読取り桁数：9桁 ×

※読取りを行うバーコードの桁数が固定（または範囲が限定）されている場合は、誤読や桁落ちを防止するために桁数を固定（または範囲を限定）することをお勧め致します。



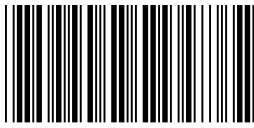
最小読取り桁数の設定（初期値：1桁）



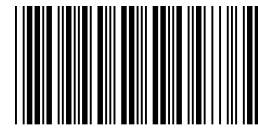
最大読取り桁数の設定（初期値：48桁）

## CODABAR(NW7)の詳細設定

### 1.読取り許可

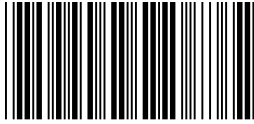


読取り許可

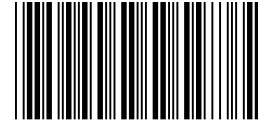


読取り不許可

### 2.スタート/ストップコードの送信



送信する

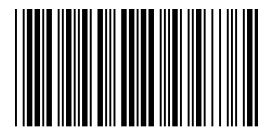


送信しない

### 3.スタート/ストップコード



a b c d / a b c d



A B C D / T N \* E



A B C D / A B C D

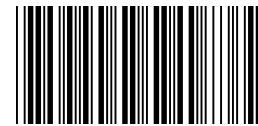


a b c d / t n \* e

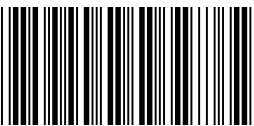
### 4.チェックキャラクタの照合と送信



照合しない



照合しチェックキャラクタを送信する



照合しチェックキャラクタを送信しない

## 5.読取り桁数範囲の設定

最小読取り桁数と最大読取り桁数を設定することができます。

最小読取り桁数と最大読取り桁数を同じ数字にすることで桁数固定に設定することができます。

(設定手順)

- 1) 最小・最大で設定したい方のバーコードを読取ります。
- 2) 設定したい桁数のバーコードを2つ読取ります。  
(P43の『数字バーコード』をご使用ください。)
- 3) 1) で読んだ方のバーコードをもう一度お読みください。  
これで設定完了となります。

※桁数固定の設定を行う場合は、上記設定を最小・最大で各々設定を行ってください。

※設定したい桁数が1桁であっても2つのバーコードを読んでください。

例) 2桁に設定したい場合：0と2のバーコードを読む

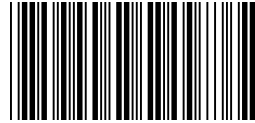
※最小読取り桁数と最大読取り桁数が逆転して設定されないようご注意ください。

例) 最小読取り桁数：10桁，最大読取り桁数：9桁 ×

※読取りを行うバーコードの桁数が固定（または範囲が限定）されている場合は、誤読や桁落ちを防止するために桁数を固定（または範囲を限定）することをお勧め致します。



最小読取り桁数の設定（初期値：6桁）

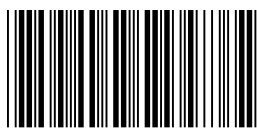


最大読取り桁数の設定（初期値：48桁）



## Interleaved 2of5 の詳細設定

### 1. 読取り許可



読取り許可

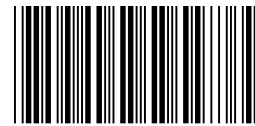


読取り不許可

### 2. チェックキャラクタの照合と送信



照合しない



照合しチェックキャラクタを送信する



照合しチェックキャラクタを送信しない

### 3.読取り桁数範囲の設定

最小読取り桁数と最大読取り桁数を設定することができます。

最小読取り桁数と最大読取り桁数を同じ数字にすることで桁数固定に設定することができます。

(設定手順)

- 1) 最小・最大で設定したい方のバーコードを読取ります。
- 2) 設定したい桁数のバーコードを2つ読取ります。  
(P43の『数字バーコード』をご使用ください。)
- 3) 1) で読んだ方のバーコードをもう一度お読みください。  
これで設定完了となります。

※桁数固定の設定を行う場合は、上記設定を最小・最大で各々設定を行ってください。

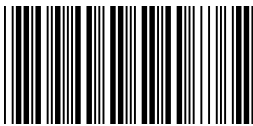
※設定したい桁数が1桁であっても2つのバーコードを読んでください。

例) 2桁に設定したい場合：0と2のバーコードを読む

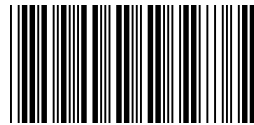
※最小読取り桁数と最大読取り桁数が逆転して設定されないようご注意ください。

例) 最小読取り桁数：10桁，最大読取り桁数：9桁 ×

※読取りを行うバーコードの桁数が固定（または範囲が限定）されている場合は、誤読や桁落ちを防止するために桁数を固定（または範囲を限定）することをお勧め致します。



最小読取り桁数の設定（初期値：6桁）



最大読取り桁数の設定（初期値：48桁）

## Industrial 2of5 の詳細設定

### 1. 読取り許可

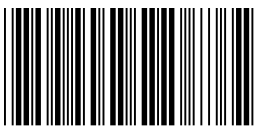


読取り許可



読取り不許可

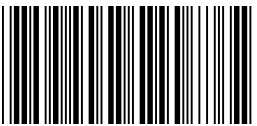
### 2. チェックキャラクタの照合と送信



照合しない



照合しチェックキャラクタを送信する



照合しチェックキャラクタを送信しない

### 3.読取り桁数範囲の設定

最小読取り桁数と最大読取り桁数を設定することができます。

最小読取り桁数と最大読取り桁数を同じ数字にすることで桁数固定に設定することができます。

(設定手順)

- 1) 最小・最大で設定したい方のバーコードを読取ります。
- 2) 設定したい桁数のバーコードを2つ読取ります。  
(P43の『数字バーコード』をご使用ください。)
- 3) 1) で読んだ方のバーコードをもう一度お読みください。  
これで設定完了となります。

※桁数固定の設定を行う場合は、上記設定を最小・最大で各々設定を行ってください。

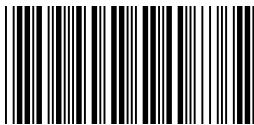
※設定したい桁数が1桁であっても2つのバーコードを読んでください。

例) 2桁に設定したい場合：0と2のバーコードを読む

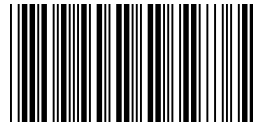
※最小読取り桁数と最大読取り桁数が逆転して設定されないようご注意ください。

例) 最小読取り桁数：10桁，最大読取り桁数：9桁 ×

※読取りを行うバーコードの桁数が固定（または範囲が限定）されている場合は、誤読や桁落ちを防止するために桁数を固定（または範囲を限定）することをお勧め致します。



最小読取り桁数の設定（初期値：6桁）



最大読取り桁数の設定（初期値：48桁）

## Matrix 2of5 の詳細設定

### 1. 読取り許可



読取り許可

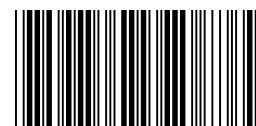


読取り不許可

### 2. チェックキャラクタの照合と送信



照合しない



照合しチェックキャラクタを送信する



照合しチェックキャラクタを送信しない

### 3.読取り桁数範囲の設定

最小読取り桁数と最大読取り桁数を設定することができます。

最小読取り桁数と最大読取り桁数を同じ数字にすることで桁数固定に設定することができます。

(設定手順)

- 1) 最小・最大で設定したい方のバーコードを読取ります。
- 2) 設定したい桁数のバーコードを2つ読取ります。  
(P43の『数字バーコード』をご使用ください。)
- 3) 1) で読んだ方のバーコードをもう一度お読みください。  
これで設定完了となります。

※桁数固定の設定を行う場合は、上記設定を最小・最大で各々設定を行ってください。

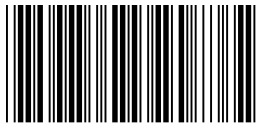
※設定したい桁数が1桁であっても2つのバーコードを読んでください。

例) 2桁に設定したい場合：0と2のバーコードを読む

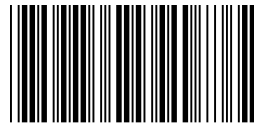
※最小読取り桁数と最大読取り桁数が逆転して設定されないようご注意ください。

例) 最小読取り桁数：10桁，最大読取り桁数：9桁 ×

※読取りを行うバーコードの桁数が固定（または範囲が限定）されている場合は、誤読や桁落ちを防止するために桁数を固定（または範囲を限定）することをお勧め致します。



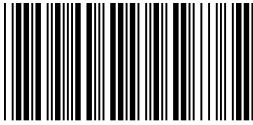
最小読取り桁数の設定（初期値：5桁）



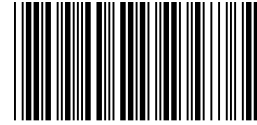
最大読取り桁数の設定（初期値：48桁）

## CODE128/GS1-128 の詳細設定

### CODE128

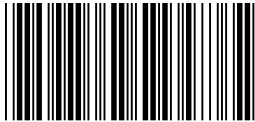


CODE128 有効

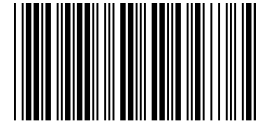


CODE128 無効

### EAN128



EAN128 有効



EAN128 無効

#### CODE128 の読取り桁数範囲の設定

最小読取り桁数と最大読取り桁数を設定することができます。

最小読取り桁数と最大読取り桁数を同じ数字にすることで桁数固定に設定することができます。

(設定手順)

- 1) 最小・最大で設定したい方のバーコードを読取ります。
- 2) 設定したい桁数のバーコードを2つ読取ります。  
(P43の『数字バーコード』をご使用ください。)
- 3) 1) で読んだ方のバーコードをもう一度お読みください。  
これで設定完了となります。

※桁数固定の設定を行う場合は、上記設定を最小・最大で各々設定を行ってください。

※設定したい桁数が1桁であっても2つのバーコードを読んでください。

例) 2桁に設定したい場合：0と2のバーコードを読む

※最小読取り桁数と最大読取り桁数が逆転して設定されないようご注意ください。

例) 最小読取り桁数：10桁，最大読取り桁数：9桁 ×

※読取りを行うバーコードの桁数が固定（または範囲が限定）されている場合は、誤読や桁落ちを防止するために桁数を固定（または範囲を限定）することをお勧め致します。



最小読取り桁数の設定（初期値：6桁）



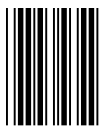
最大読取り桁数の設定（初期値：48桁）

## 保守メニュー

下のバーコードを読むとスキヤナのバージョンが出力されます。



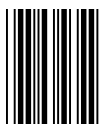
## 数字バーコード



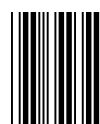
1



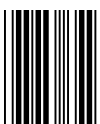
6



2



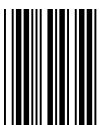
7



3



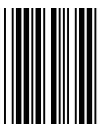
8



4



9



5



0



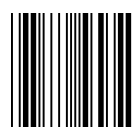
プリフィックス/サフィックス付加文字(ASCIIコード)一覧



NUL



BEL



SO



SOH



BS



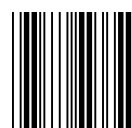
SI



STX



HT



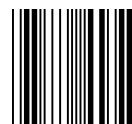
DLE



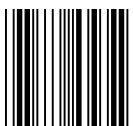
ETX



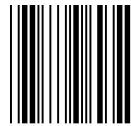
LF



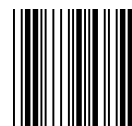
DC1



EOT



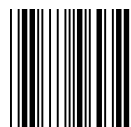
VT



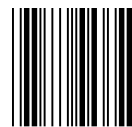
DC2



ENQ



FF



DC3



ACK



CR



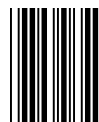
DC4



NAK



FS



.(カンマ)



SYN



GS



\$



ETB



RS



%



CAN



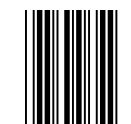
US



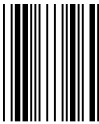
/



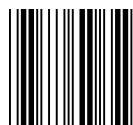
EM



SP



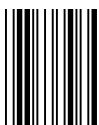
¥



SUB



+



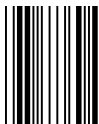
!



ESC



-



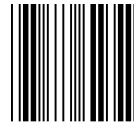
@



#



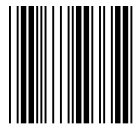
|



<



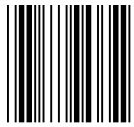
^



{



>



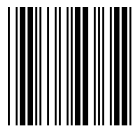
~



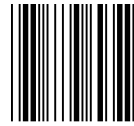
}



`



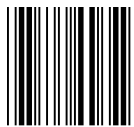
&



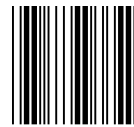
[



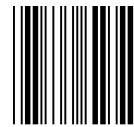
”



\*



]

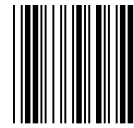


’



-

(アンダーバー)



(



,

(カンマ)



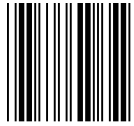
=



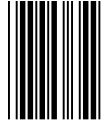
)



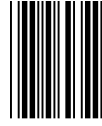
;



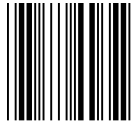
:



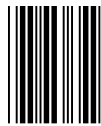
E



L



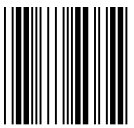
?



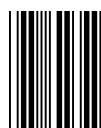
F



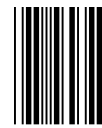
M



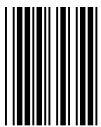
DEL



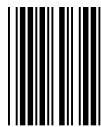
G



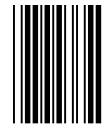
N



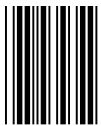
A



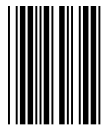
H



O



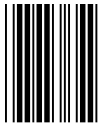
B



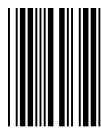
I



P



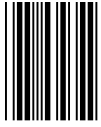
C



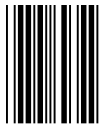
J



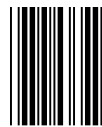
Q



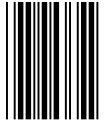
D



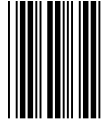
K



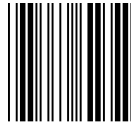
R



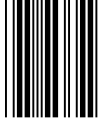
S



Z



g



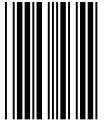
T



a



h



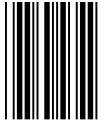
U



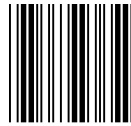
b



i



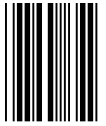
V



c



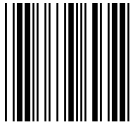
j



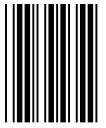
W



d



k



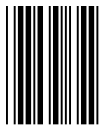
X



e



l



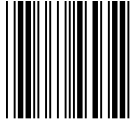
Y



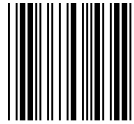
f



m



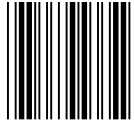
n



u



F 2



o



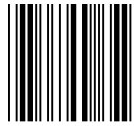
v



F 3



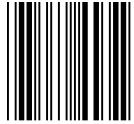
p



w



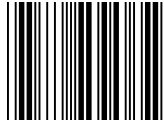
F 4



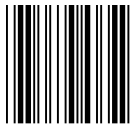
q



x



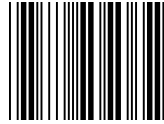
F 5



r



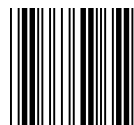
y



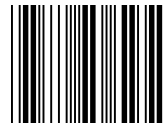
F 6



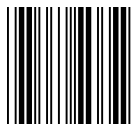
s



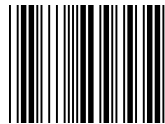
z



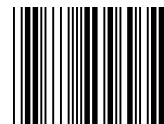
F 7



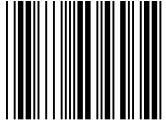
t



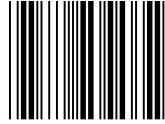
F 1



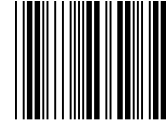
F 8



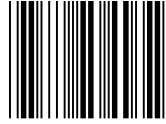
F 9



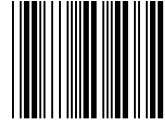
P a g e U p



I n s



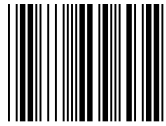
F 1 0



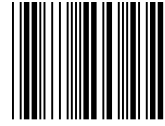
P a g e D o w n



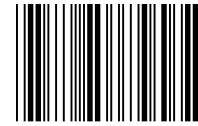
右C t r l (m a k e)



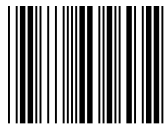
F 1 1



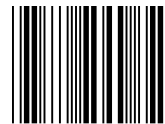
T a b



右C t r l (b r e a k)



F 1 2



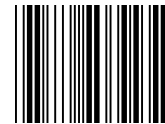
E S C



右A l t (m a k e)



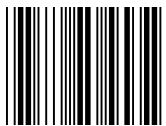
H O M E



E n t e r



右A l t (b r e a k)



E N D



B S



E n t e r

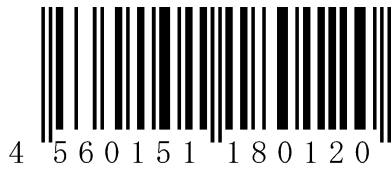
(N u m e r i c K e y)



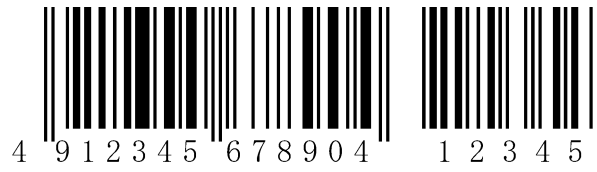
D e l

# サンプルバーコード

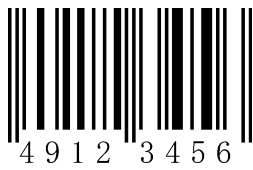
JAN / EAN-13



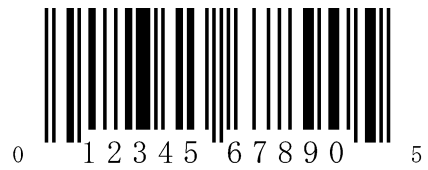
JAN / EAN-13 + アドオン 5 桁



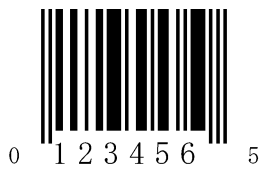
JAN / EAN-8



UPC-A



UPC-E



コード 39 (チェックキャラクタなし)



RSS14



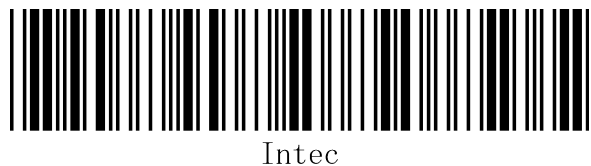
コード 39 (チェックキャラクタ付)



RSS Limited

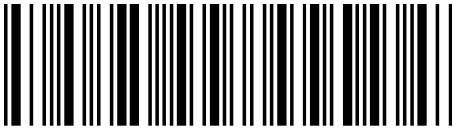


コード 39 (フルアスキー)





コードバー(チェックキャラクタなし)



a123456789a

コードバー(チェックキャラクタ付)



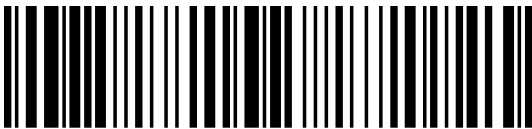
a123451a

コード 128



NICHIEI-INTEC

EAN/UCC-128



(21) 060428 (11) 060525

インタリーブド 2 オブ 5



0123456

ITF-14



14560151181353

# 日栄インテック株式会社

Auto-ID グループ

〒110-0016

東京都台東区台東 3-42-5 日栄インテック御徒町第1ビル

TEL 03-5816-7141 FAX 03-5816-7140

E-Mail [info@barcode.ne.jp](mailto:info@barcode.ne.jp)

<http://www.barcode.ne.jp/>